

岩手国際イノベーションコンベンション（I I C）開催要項

1 趣旨

国内外から参加する起業家、投資家等とのネットワークを構築することにより、スタートアップの成長機会の創出を図るため、スタートアップに関する国際会議を開催するもの。

2 メインテーマ

グローバル・パートナーシップによる地域イノベーション創出、スタートアップの成長

日本の地方である岩手には、いわて牛、米、日本酒、三陸の水産物といった農林水産業をはじめ、自動車・半導体、IT、ヘルスケアといった先端分野に至る産業基盤がある。また、岩手の産学官金は、連携して人材育成や新産業・新事業創出等を推進している。

このような豊富で優れた資源やネットワークを持つ岩手は、国境を越えて、起業家精神や新たな市場を持つ東南アジアをはじめとした世界とパートナーシップを構築することにより、スタートアップ創出や持続的なイノベーション創出、経済再生につながる可能性を秘めている。

岩手国際イノベーションコンベンション（I I C）は、スタートアップ創出、ビジネス連携、投資、そしてイノベーション創出に向けたグローバル・パートナーシップを、新たに岩手の地から作り出していく幕開けとなるものである。

I I Cでは、日本及び海外から起業家、投資家、企業が一堂に会し、地方からのイノベーションの創出やスタートアップの成長に向け、岩手と世界が中長期にわたり取り組むテーマについて、基調講演、ファイヤーサイドチャット、分科会、ネットワーキングを通じて、現状認識やあるべき姿の共有を図るとともにグローバルなネットワークを構築していく。

3 開催概要

- (1) 主 催 岩手県、岩手国際イノベーションコンベンション実行委員会
- (2) 共 催 インシグニア・ベンチャーズ・パートナーズ
- (3) 2026 年日・シンガポール外交関係樹立 60 周年記念事業（外務省承認済）

	※2026 年は日本・シンガポール外交関係樹立 60 周年に当たり、両国は、この記念すべき年をできるだけ多くの人々と共に祝い、そして両国の交流を一層促進するため、日本・シンガポール外交関係樹立 60 周年記念事業及び記念ロゴマーク使用事業を募集しているもの。
---	---

- (4) 後 援 仙台・東北スタートアップ・エコシステム・コンソーシアム
一般社団法人 EO North Japan
- (5) 開催日時 令和 8 年 10 月 29 日(木) 15:00～20:00
10 月 30 日(金) 9:00～17:00
- (6) 会 場 盛岡グランドホテル（岩手県盛岡市愛宕下 1-10）
- (7) 定 員 200 名
 - ① 国内外の起業家、投資家、企業、県内学生
 - ② 国内外の金融機関・ベンチャーキャピタル
 - ③ 政府関係者（国、在日シンガポール大使館、在シンガポール日本大使館等）
- (8) 参加費 10 万円/人
- (9) 参加申し込み方法 特設ウェブサイト (<https://iwateiic.jp/>) からの申込

(10) 参加申込期間 令和8年8月7日(金)～9月30日(水)

(11) 内 容

- ・基調講演(国内外起業家、投資家等)、ファイヤーサイドチャット(座談会形式の対談)
- ・分科会(農林水産業、医療・ヘルステック、AIの3分野)
- ・交流レセプション
- ・スタートアップ等展示

4 プログラム(令和8年9月24日現在)

【1日目】2026年10月29日(木)(15:00～20:00)

テーマ: 岩手が創る「世界に開かれたスタートアップ・エコシステム」を世界に発信する

シンガポールのベンチャーキャピタル、インシグニア・ベンチャーズ・パートナーズと岩手県が連携して取り組む「世界に開かれたスタートアップ・エコシステム」のビジョンについて、岩手から国内外に発信する。

さらに、岩手発のイノベーションや地域課題解決を目指すフロントランナーである起業家が、世界を見据えた取組やこれからの成長戦略をファイヤーサイドチャットで語ることにより、岩手におけるスタートアップ育成・創出の可能性を国内外に発信する。

1	15:00 開会	13:30 ～18:00 スタート アップ等 展示
2	15:00～16:10 オープニングセッション インシグニア・ベンチャーズ・アカデミーの開設に係る基本合意書締結式 岩手県知事 達増 拓也 インシグニア・ベンチャーズ・パートナーズ 創業者兼代表者 タン・インラン 氏	
	休憩(16:10～16:30)	
3	16:30～17:30 ファイヤーサイドチャット テーマ:「(仮) 社会課題解決と世界を目指すいわて発スタートアップ」 ①県内起業家: ㈱雨風太陽 代表取締役社長 高橋 博之(たかはし ひろゆき)氏 ②県内起業家: ㈱ヘラルボニー 代表取締役COO 松田 文登(まつだ ふみと)氏 ③県内起業家: ㈱北三陸ファクトリー 代表取締役CEO 下苧坪 之典(したうつぼ ゆきのり)氏 モデレーター: 調整中(国内)	
	概要: 岩手を代表する起業家が集い、シンガポールのベンチャーキャピタリスト、チュン・アレン氏をモデレーターに、社会課題解決や岩手から全国そして世界に羽ばたくビジネスの成長ストーリーとこれからのビジョンについて語り合う。	
4	17:30～17:45 スポンサー企業からの告知タイム	
5	18:00～20:00 交流レセプション	

【2日目】2026年10月30日（金）（9：00～17：00）

テーマ：世界のスタートアップ・エコシステムの取組や世界を志す起業家を岩手から発信する

世界のスタートアップの育成や創出支援に最前線で取り組む銀行、証券取引所、企業の経営者やベンチャーキャピタリスト、日本と東南アジアの新たなビジネスを模索するフィンテックのスタートアップから、世界のスタートアップ・エコシステムの潮流やビジネスの動向について、講演やファイヤーサイドチャットにより発信しながら、世界に開かれたスタートアップ・エコシステム形成に向けた人的ネットワークを形成する。

さらに、農林水産業、医療・ヘルステック、AIの3つの分科会に、海外展開や成長を志向する起業家が登壇し、成長に向けた課題などを参加者と共有することにより、新たな連携や協業につなげて、スタートアップの育成・成長を推進する。

1 9：00～10：10 ファイヤーサイドチャット テーマ：「（仮）日本から海外市場への展開——商社とメーカーと共に切り拓く道」 登壇者：エレコム㈱ 代表取締役社長執行役員 石見 浩一（いわみ こういち）氏 丸紅㈱ 常務執行役員 川邊 太郎（かわべ たろう）氏 モデレーター：インシグニア・ベンチャーズ・パートナーズ 戦略開発・オペレーション担当 副代表 チュン・アレン 氏 概要： エレコムと丸紅のトップリーダーが、それぞれの事業モデルを生かした海外展開戦略を紹介。メーカーと総合商社という異なる視点から、日本企業が持続的な成長を実現するための戦略や新たなビジネス機会を探る。	9：00 ～17：00 スタート アップ等 展示
休憩（10：10～10：30）	
2 10：30～11：00 基調講演 テーマ：「（仮）日本企業の東南アジア進出を支援する新たな役割： エコシステムパートナーとしてのみずほ」 講師：㈱みずほフィナンシャルグループ 取締役会長 武 英克（たけ ひでかつ）氏 概要： 株式会社みずほフィナンシャルグループ取締役会長の武英克氏が、日本企業の東南アジア進出を支える新たな金融機関の役割について講演する。 みずほが世界で築いたネットワークや知見を活用し、多様な主体をつなぐ「エコシステムパートナー」としての価値を紹介。さらに、東南アジア市場の最新動向、日本企業に求められるグローバル戦略、地域企業やスタートアップとの共創による成長機会を展望し、今後の事業戦略のヒントを提供する。	

3 11:00~11:30 基調講演

テーマ：「(仮) 世界への挑戦を支える見えない基盤

ー なぜ信頼が国境を越えて企業を結びつけるのか」

講師：Eisenhower Fellowships 代表 George de Lama 氏

概要：

世界市場での事業拡大には、技術や資金だけでなく、国境を越えた「信頼」の構築が欠かせない。本講演では、Eisenhower Fellowships プレジデントのジョージ・デ・ラマ氏が、グローバルビジネスを支える人的ネットワークと信頼の価値について解説。企業やスタートアップが海外市場への挑戦や国際連携を進めるうえで必要となるパートナーシップ形成やリーダーシップのあり方を学び、地域発の成長戦略を考える機会を創出する。

4 11:30~12:00 基調講演

テーマ：「(仮) 東証上場までの一貫した成長支援プラットフォームの構築」

講師：(株)東京証券取引所 執行役員 高橋 直也（たかはし なおや）氏

概要：

株式会社東京証券取引所の執行役員・高橋直也氏が、スタートアップや成長企業の育成から東証上場、さらに上場後の企業価値向上までを支援する「一貫した成長支援プラットフォーム」の構築について講演する。資本市場の最新動向や地域発スタートアップへの期待に加え、企業・投資家・金融機関・大学・自治体が連携する成長エコシステムの重要性を解説。岩手をはじめとする地域から世界を目指す企業の成長とイノベーション創出に向けた展望を語る。

昼食・ネットワーキング（12:00~13:00）

5 13:00~14:30 分科会（①農林水産業、②医療・ヘルステック、③AI）

【第1分科会：農林水産業】

テーマ：「地域資源とテクノロジーによる次世代農林水産業の創出」

①県内起業家 (株)北三陸ファクトリー 代表取締役副社長

眞下 美紀子（まっか みきこ）氏

②県内起業家 (株)S o t t 代表取締役 高橋 舞衣（たかはし まい）氏

③県内起業家 MOM I J I (株) 代表取締役

兼澤 幸男（かねさわ ゆきお）氏

④県外起業家 (株)WAKU 代表取締役 姫野 亮佑（ひめの りょうすけ）氏

モデレーター (株)雨風太陽 顧問 大塚 泰造（おおつか たいぞう）氏

概要：岩手県の基幹産業である農林水産業について、スタートアップによる地域資源やテクノロジーを活用した新事業創出と、地方から世界への展開を語る。

【第2分科会：医療・ヘルステック】

テーマ：「ヘルステック等ディープテックで拓く地域課題解決、グローバルイノベーション」

①県内起業家 (株)東北医工 代表取締役 大関 一陽（おおぜき かずあき）氏

②県内起業家 (株)フィジオスバイオテック 代表取締役CEO
三木 一郎（みき いちろう）氏

③県内起業家 (株)クオントディテクト 代表取締役社長
西塚 哲（にしづか さとし）氏

④県外起業家 (株)KOEDA 代表取締役 奥蘭 徹（おくぞの とおる）氏
モデレーター (株)地域経済活性化支援機構（REVIC）
マネージング・ディレクター

田中 雅範（たなか まさのり）氏

概要：地方が抱える医療・ヘルスケアの課題解決に向け、スタートアップによるヘルステック等ディープテックを活用した革新的な新事業創出や世界市場への展開を語る。

【第3分科会：AI（人工知能）】

テーマ：「AIによるイノベーションと産業変革、地域課題解決」

①県外起業家 (株)Athena Technologies 代表取締役
阿部 武（あべ たける）氏

②県内起業家 (株)サステナ 代表取締役 三井 康平（みつい こうへい）氏

③県外起業家 (株)LIGHTz 代表取締役社長CEO
乙部 信吾（おとべ しんご）氏

④県内起業家 Defios(株) 代表取締役社長兼CEO
近藤 鯛貴（こんどう たいき）氏

モデレーター ふくりグループ代表／トポロジ代表取締役社長／
オリックス顧問（事業投資本部）

小原 毅也（おばら たけや）氏

概要：スタートアップによるAIを活用したイノベーションがもたらす価値や産業変革、地域課題解決について語る。

休憩（14：30～14：45）

6 14：45～15：15 基調講演

テーマ：「(仮)世界のスタートアップ最前線から見る

岩手・東北の可能性と期待」

講師：リブライパートナーズ(株) 代表取締役

蛸原 健（えびはら たけし）氏

概要：

リブライパートナーズ株式会社代表取締役の蛸原健氏が、世界のスタートアップの最新動向と岩手・東北地域の可能性について講演する。

グローバルなスタートアップ支援の経験をもとに、イノベーション創出や地域経済の成長におけるスタートアップの役割を解説。さらに、インドや東南アジアの成功事例、日本の資金調達環境やエコシステムの現状を紹介しながら、岩手・東北の強みを生かした地域発イノベーションの可能性と、世界に挑戦する企業を生み出すために必要な視点を展望する。

7	15 : 15～15 : 55 ファイヤーサイドチャット テーマ：「(仮) 日本発、東南アジアへ：グローバルなスタートアップ エコシステムを担う次世代AI企業を育てる」 登壇者：Fluid 共同創業者兼CEO Trasy Lou Walsh 氏 リブライトパートナーズ(株) 代表取締役 蛭原 健（えびはら たけし）氏 (株)松尾研究所 田中 遼太郎 （たなか りょうたろう）氏 モデレーター：インシグニア・ベンチャーズ・パートナーズ 上級顧問 ウォン・ピーター 氏 概要： 生成AIの進展により、スタートアップのグローバル展開の可能性が大きく広がる中、本セッションでは東南アジアでAI事業を展開するFluidのTrasy Lou Walsh氏、リブライトパートナーズの蛭原健氏、松尾研究所の田中遼太郎氏が登壇。日本発AIスタートアップの成長戦略や東南アジア市場の可能性、世界で競争力を高めるための挑戦と連携のあり方を議論する。	
8	15 : 55～16 : 35 ファイヤーサイドチャット テーマ：「(仮) 日本の資本と知見を活かす東南アジア展開戦略」 登壇者：Tonik 創業者兼CEO Greg Krasnov 氏 Surfin 創業者兼CEO Yanan Wu 氏 (株)りそな銀行 専務執行役員 中原 元（なかはら げん）氏 (株)オリエントコーポレーション海外事業企画部 副部長 田中 大介（たなか だいすけ）氏 インシグニア・ベンチャーズ・パートナーズ 創業者兼代表者 タン・インラン 氏 概要： 急成長を続ける東南アジアのデジタル金融市場をテーマに、デジタルバンク、フィンテック、金融機関、ベンチャーキャピタルの各分野を代表するリーダーが集結。日本の資本や金融ノウハウを活かした海外展開の可能性や、東南アジア市場における成長戦略について多角的に議論する。日本と東南アジアを結ぶ新たな連携のあり方と、次世代イノベーション創出に向けた展望を探るファイヤーサイドチャット。	
9	16 : 35～16 : 45 閉会挨拶 インシグニア・ベンチャーズ・パートナーズ 創業者兼代表者 タン・インラン 氏	
10	16 : 45～17 : 00 ネットワーキング	

【スタートアップ等展示】

県内スタートアップ等の展示を実施することにより、コンベンション参加者と展示者との交流やマッチングを図り、新たな連携事例の創出を推進する。

令和8年10月29日（木） 13：30～18：00

10月30日（金） 9：00～17：00

出展スタートアップ等（令和8年9月17日現在）

No.	区分	企業名等
1	県内スタートアップ、企業等	（一社）岩手イノベーションベース
2		(株)S o t t
3		(株)酒と学校
4		(株)1 6 8 4
5		(株)Shiitakey
6		(株)N e x t I W A T E
7		磐井A I (株)
8		(株)Imanect
9		Creo creators
10		(株)いおう化学研究所
11		(株)AtoZテクノロジー
12		滝沢ロボティクス合同会社
13		(株)クロス・クローバー・ジャパン
14		(株)航和
15		(株)COCO HARETE
16		(株)プラスプラス
17		TOLIC（東北ライフサイエンス・インストルメンツ・クラスター）
18	県内大学、高専等	岩手大学
19		岩手県立大学
20		岩手医科大学
21		一関工業高等専門学校
22		（地独）岩手県工業技術センター
23		（公財）岩手生物工学研究センター